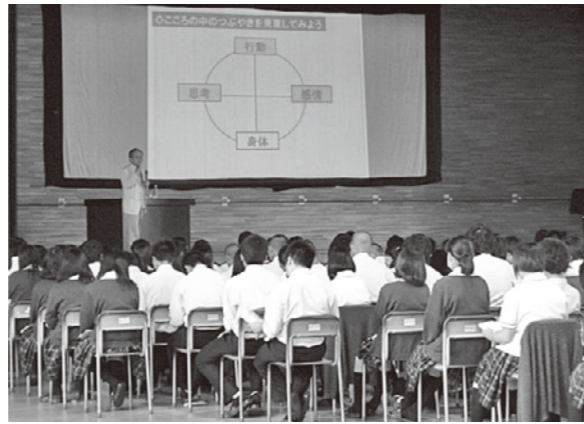


Funehiki High School News vol.108

◆ 10代の心の健康を守るための授業

7月4日、全生徒を対象に「10代の心の健康を守るための授業」を実施しました。講師には、針生ヶ丘病院から、臨床心理士の大森洋亮先生をお招きしました。軽妙な語り口と分かりやすい資料で、大人と子どもの狭間で苦しむ「思春期危機」を乗り越えるための心得や、折れない心を持つための視点について教えていただきました。

生徒たちは熱心に聞き入り、リラックス体操にも全員で取り組みました。高校時代を心健やかに過ごすヒントを得たようです。



◆ 防災避難訓練

6月20日、防災避難訓練を実施しました。訓練は地震によって校内の通路が一部通行できなくなった状況を想定して行われ、生徒たちは引き締まった表情で、迅速に屋外へ退避していました。

生徒たちには今回の経験を、いつ来るかわからない緊急時に生かしてほしいと思います。



◆ 選手壮行会



7月1日、各種県大会に出場する選手への壮行会を開催しました。全国高等学校野球選手権福島大会に出場する野球部、福島県総合体育大会に出場する卓球部・バドミントン部・ソフトテニス部を、全生徒による校歌斉唱で激励しました。また、剣道部は大会日程が早かったため、6月20日に壮行会を実施しました。

どの部も大会に向けての意気込みは力強く、頼もしさを感じました。

◆ 前期 P T A 奉仕作業

6月11日、前期 P T A 奉仕作業が行われ、早朝にもかかわらず、100人を超える保護者、全校生の半数を超える生徒、教職員も含め総勢 300人を超える人数で、学校敷地内の清掃・美化活動に取り組みました。また、今年度から、学校から船引駅までの道のりと駅の駐輪場近辺のごみ拾いも行いました。船引高校は、今後ますます地域の一員として活躍の場を広げていきたいと考えています。

後期は9月に実施する予定です。



家庭

Stefanie Stoops

ステファニー・ストゥープスさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	38

右下の写真は私の両親の家です。この家は私の学校でもあり、母が私の先生でした。それは抽象的な意味ではなく、文字どおりそうだったのです。

アメリカでは、子どもを学校に通わせて教育を受けさせる代わりに、両親が家庭で子どもを教育することができます。中には、12年間ずっと家庭で学習する子どももいます。8年間は家庭で学習し、残りの4年間は学校に通う子どももいます。高校生には、ある科目だけ学校で学習し、それ以外の科目を家庭で学習する選択もあります。このような教育形式は、ホームスクーリング (homeschooling) などと呼ばれています。

ホームスクーリングを行っている家庭では、子どもを教えるために家に残るのはほとんど母親です。私の両親は、学校の全教科課程の教科書、ワークブック、教師用教本、プリントなどを毎年購入していました。母はそれらの教材を使って、私と兄に勉強を教えてくださいました。私たちはキッチンテーブルやリビングで勉強しました。母から授業を受け、教科書を読み、宿題をし、レポートを書き、テストを受けました。高校になると内容はさらに高度になり、両親は本職の教師が教えるDVDを買って私に見せました。



「ホームスクール・グループ」というものもあります。そのグループではいろいろなイベントを開いていて、そこに母親や子どもたちは集まります。時には一緒に校外学習 (実地学習) に行くこともあります。子どもたちが学習した内容の発表をする場として、「教育フェア」も行われます。私の家族は、2週に1度、理科、外国語、美術、体育の授業を一緒に行うグループに入っていました。ホームスクール・グループは、人と交流する良い機会の1つです。課外の活動としては、バレー、水泳のレッスンや教会に行くことなどがあり、ホームスクール・グループ以外の人々との交流の機会になっていました。

各学年の終わりには、父が一連のテストを行い、テストは採点のために郵送されました。テストの結果が標準レベルに達していれば、次の学年に進むことができます。学習内容の達成度を判定する公認面接官に、子どもを面接するよう申請する家庭もあります。私は高校3年生レベルのテストに合格して、高校卒業の資格を得ました。私の卒業式はホームスクール協会によって行われ、他のホームスクールの子どもたちと一緒に卒業しました。卒業証書を私に授与したのは両親でした。

ホームスクーリングは簡単ではありません。両親は多くの時間を犠牲にしなければなりません。子ども自身も、孤立しているように感じたり、数学や理科を教えるのがだんだん難しくなったり、スポーツに参加することが困難だったりします。



しかし、それらは克服できないことではありません。日程に大きな柔軟性があり、親は子どもの校外学習の日や休日を、自分と子ども両方の都合を考えて決めることができます。2日を必要とする内容の学習を1日で達成できる科目もあるでしょう。苦戦している学習内容にもっと時間をかけ、十分に理解してから次に進むことができます。高校の課程で、私は多くの時間を独学で勉強しました。そして、その学習は大学での勉学の準備に役立ちました。ホームスクーリングは時間や労力がかかる分、やりがいをもたらしてくれる制度です。

私がホームスクーリングをするために、両親は必要な時間を作り、少ない経費を負担してくれました。それには感謝するばかりです。